AudioComm®

ポータブルCDプレーヤー

取扱説明書

保証書付

型番： CDP-8174G-W　**品番：** 07-8174
CDP-8174G-K　07-8175
CDP-8174G-P　07-8176

このたびは、AudioComm® ポータブルCDプレーヤーを
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**"この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。"**
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

保証書　持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
   (但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理で相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	ポータブルCDプレーヤー		★お買い上げ日： 年 月 日
型番	CDP-8174G-W CDP-8174G-K CDP-8174G-P	品番	07-8174 07-8175 07-8176
お客様	ふりがな ★お名前 ★ご住所 〒 ー 電話 ( )		保証期間：本体1年間(お買い上げの日から) 様
修理メモ			
販売店	★住所 店名 電話		㊞

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
株式会社 オーム電機
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●通話料無料　●携帯・IP・公衆電話からは
電話受付　0120-963-006　平日 9：00~17：00　※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます　048-992-2735
修理に関するご相談は　修理ご相談センター へ
電話受付　048-992-3970　平日 9：00~17：00　※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-8174/8175/8176

目　次

免責事項……1
安全上のご注意 ……1～3
CDについて ……4
各部の名称……5
乾電池の入れかた ……6
USB電源またはACアダプター(別売)を使うときは ……6
電源のオン・オフについて ……6
接続のしかた ……7
ホールド機能について ……7
ESP機能について ……7
CDを聴くときは ……8～12
お手入れのしかた ……13
故障かなと思ったら ……14
主な仕様……14
保証書とアフターサービスについて ……15
保証書……表裏紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取扱を誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 (左図の場合は「感電注意」が描かれています。)
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 (左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。)

⚠ 警告

使用禁止	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに電源を切り、乾電池を取り外す AC電源にて使用しているときはACアダプターを家庭用コンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。
使用禁止	**万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。
乾電池に注意	**乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する** ●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
分解禁止	**分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。
禁止	**車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない** ●交通事故の原因になります。また歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
禁止	**台所や浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない** ●火災や感電の危険があります。
禁止	**海外では使用しない** ●本機は日本国内でのみ使用可能です。
禁止	**ピックアップレンズを覗き込まない** ●レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。
適合品を使う	**ACアダプターは必ず本機の仕様に適合した製品を使う** ●破損や火傷、発煙、火災の原因となります。
禁止	**ACアダプターは交流100ボルト以外の電圧で使用しない。また、自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない** ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となります。
禁止	**雷が鳴りだしたら、本機やACアダプターに触れない** ●感電の原因になります。
接続場所を選ぶ	**ACアダプターはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する** ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。異常が生じたときには、すぐにACアダプターを家庭用コンセントから抜いてください。
禁止	**本機やACアダプターを布団などで覆わない** ●熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。
禁止	**本機やACアダプターの上に重いものをのせたり、ACアダプターのコードの上に本機をのせない** ●本機が破損したり、コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない** ●落下による故障やけがの原因となることがあります。
禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●本機に悪い影響を与え故障の原因となることがあります。

次ページに続く

⚠注意

禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。ほこりがつかないように、ディスク・乾電池の出し入れ時以外は必ずCDドアを閉じてください。	禁止	**電磁波を発生させる機器（携帯電話、テレビ、モニターなど）に近づけない** ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
極性に注意	**乾電池を挿入するときは極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示どおり正しく入れる** ●間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	指を挟まれないように注意	**お子様がCDドア内に手を入れないように注意する** ●けがの原因となることがあります。
禁止	**指定以外の乾電池は使用しない。古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池を一緒に使わない** ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	乾電池を取り外す	**お手入れの際には安全のため電源を切り、乾電池を取り出す。ACアダプターも家庭用コンセントから抜く。USB電源接続時はUSBケーブルを抜く** ●感電の原因となることがあります。
禁止	**落としたり、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない** ●CDが傷ついたり、本機の故障や破損の原因になることがあります。	乾電池を取り外す	**長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り出す。ACアダプター接続時はACアダプターも取り外す。USB電源接続時はUSBケーブルを抜く** ●火災・液もれの原因となることがあります。
禁止	**はじめから音量を上げすぎない** ●突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。		
禁止	**長時間、大音量で聴き続けない** ●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。	掃除をする	**ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する** ●ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
禁止	**ピックアップレンズに触らない** ●再生不良や故障の原因となることがあります。		

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告
- 火中への投入、加熱、分解をしない
- 取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ショートさせない

⚠注意
- ⊕⊖の表示通りに入れる
- 指定以外の乾電池を入れない
- 使用推奨期限内の乾電池を使用する
- 古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- 使い切った乾電池はすぐに取り出す
- しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

CDについて

本機で再生できるCD

メディアの種類	CD-R/RW
ファイル形式	MP3
	音声圧縮方式のひとつ（本書ではMP3-CDと呼び、他のCD-R/RWと区別することがあります）。

※フォルダー構造やファイル形式によって認識されなかったり、再生できない場合があります。
ご注意：WAV、AAC、AIFFなどの　ファイル形式は再生できません。また、MP3以外の音声圧縮 ファイルの場合（WMAなど）、CD-R/RWをセットすると、ディスクが回転し続けるなどの現象が起こる可能性がありますので、使用しないでください（動作保証の対象外となります）。

CD規格の注意事項

●ディスクに COMPACT disc DIGITAL AUDIO CD SINGLE のマークが入ったものをご使用ください。
●現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク（CD）規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

コピーコントロールCD
コピーコントロールCDのマーク

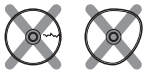
●本機はCD-R/CD-RWの再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。
- CD-R/CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
- ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。
- 本機ではMP3形式の音楽ファイル（対応ビットレート：32～320kbps）を再生できます。それ以外の形式で圧縮された音楽ファイルは再生しないでください（P.8もあわせてご確認ください）。
- DRM（著作権保護）付きファイルは再生できません。
- 本機で認識できるIDタグは英数字及び一部の記号のみです。それ以外の文字を使っている場合、本機では表示できません。

DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した映像用と音楽用のディスクを組み合わせた両面ディスクです。このDualDiscはコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

ディスク使用上の注意点

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。



結露について

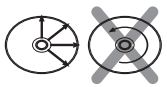
寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数時間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

ディスク取扱上の注意点

◆再生面に触れないように持ってください。

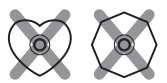
◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。



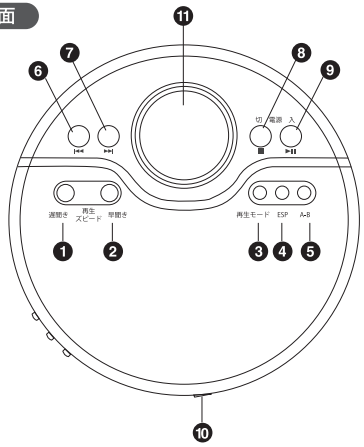
◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

◆ハート型や八角系などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。

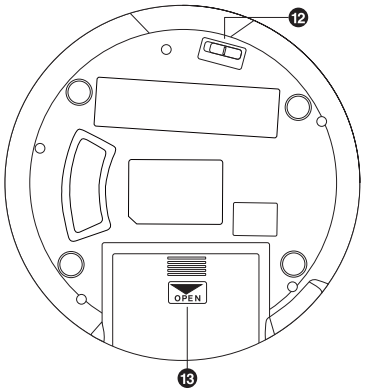


各部の名称

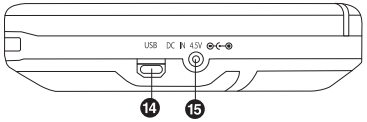
正面



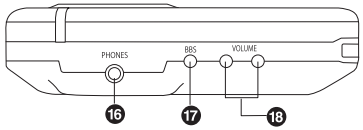
底面



右側面

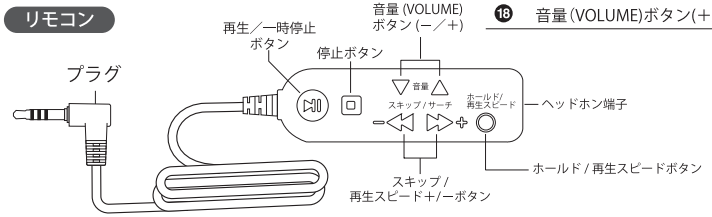


左側面



❶	遅聞きボタン
❷	早聞きボタン
❸	再生モードボタン リピート(1、ALL、RND)、PROG
❹	ESPボタン
❺	A-Bリピートボタン
❻	スキップ ⏮
❼	スキップ ⏭
❽	電源切・停止ボタン
❾	電源入・再生/一時停止ボタン
❿	CDドア開スイッチ
⓫	液晶表示ディスプレイ
⓬	本体HOLDスイッチ
⓭	電池ボックス
⓮	USB外部電源(マイクロUSB)
⓯	電源端子(DC IN)
⓰	ヘッドホンリモコン端子
⓱	重低音(BBS)ボタン
⓲	音量(VOLUME)ボタン(+/−)

リモコン



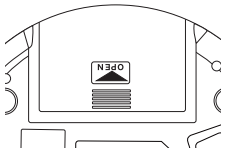
乾電池の入れかた

❶ 電池ボックスカバーのツメを外し、電池ボックスカバーのスベリ止め部を指で押えて、矢印方向にスライドさせて手前に引き上げて開きます。

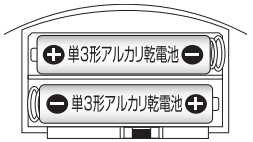
❷ 単3形アルカリ乾電池×2本(別売)を、⊕⊖の向きに注意しながら図のとおりに正しく入れます。コイルバネのあるほうが⊖です。⊖側から先に装着してください。

❸ 電池ボックスカバーを元どおりにしっかりと閉めます。

底面



乾電池は⊖側から装着してください。

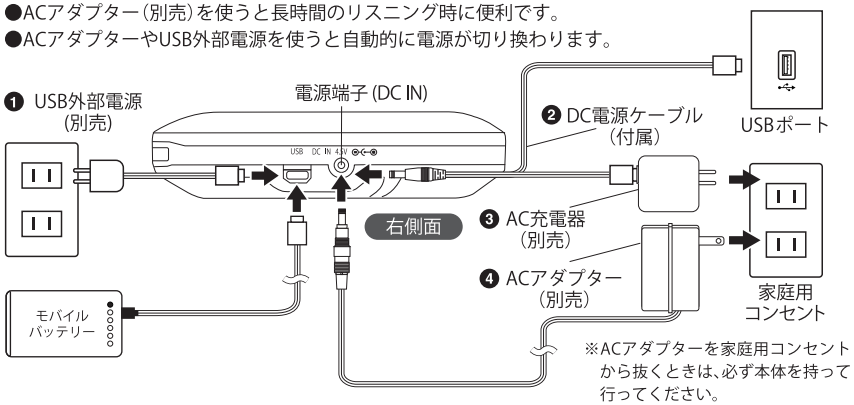


単3形乾電池×2本(別売)

※電池残量が少なくなると、ディスプレイに ▭ マークが表示されます。早めに新しい乾電池に交換してください。

USB外部電源またはACアダプター(別売)を使うときは

●ACアダプター(別売)を使うと長時間のリスニング時に便利です。
●ACアダプターやUSB外部電源を使うと自動的に電源が切り換わります。



※ACアダプターを家庭用コンセントから抜くときは、必ず本体を持って行ってください。

●ACアダプターは市販のDC4.5V 700mA ⊖◉⊕ (外径3.5mm 内径1.3mm)をお買い求めください。それ以外の規格の製品は使わないでください。

電源のオン・オフについて

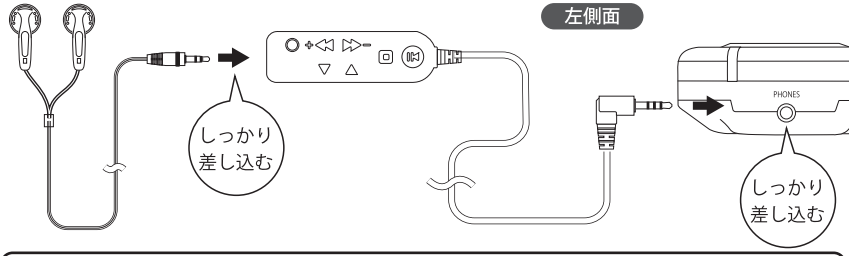
電源オン…電源入ボタン❾を押すと、電源が入ります(CDが正しく装着されているときは、「rEAd」表示に続き読み込み動作の後、自動的に再生が始まります)。

電源オフ…停止中に電源切ボタン❽を長押しすると、電源が切れます。
リモコンの停止ボタンで電源はオフにできません。

オート電源オフ機能…節電のため、再生停止のまま何も操作しない状態が約60秒間続くと、自動的にディスプレイ表示が消え、電源が切れます。

接続のしかた

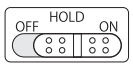
イヤホンのφ3.5mmステレオミニプラグをリモコンのイヤホンジャックに差し込みます。続いてリモコンのφ3.5mmステレオミニプラグを本機のヘッドホン／リモコンジャックに差し込みます。



- ●プラグを抜き差しするときは、コードではなく、必ずプラグ本体を持って行なってください。断線や破損のおそれがあります。
- ●接続は電源が切れた状態で行なってください。電源が入ったまま行なうと誤作動の原因になります。
- ●接続時はリモコンの音量を最小にしてください。

ホールド機能について

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押されて動作するのを防ぎます。リモコンのホールドを1回押すとディスプレイに「HOLD」が表示されます。「HOLD」が表示されている時、再度リモコンのホールドを押すと解除されます。底面にある本体ホールドスイッチをONにするとボタン操作ができなくなり誤作動を防止することができます。



ESP 機能について

本機はESP（Electronic Shock Protection）機能を装備しています。ESP機能とは自動的に音声データを蓄え音飛びを防ぐ機能で、本機は約60秒間のデータをメモリーに蓄えます。ESP機能を有効にするにはESPボタンを押してください。有効時は液晶表示ディスプレイに「ESP」が表示されます。ESP機能を解除するには、もう一度ESPボタンを押して「ESP」表示を消してください。

- ●再生当初はメモリーへの蓄積が十分でないため、音飛び防止が十分に働かないことがあります。
- ●ESP機能が有効な場合でも、データ蓄積時間を超えて振動が続いた場合（歩行中や動いている車内など）、一時的に音が途切れることがあります。

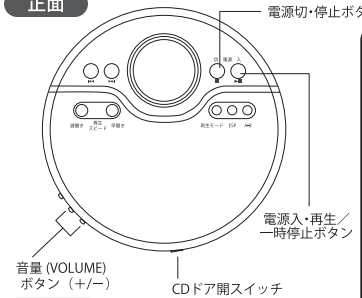
レジューム機能について

●本機では、再生を途中で停止して電源を切った場合、次に電源を入れると前回停止したところから再生を開始します。違うファイル（曲）を聴くときは、スキップ(⏮／⏭)でお選びください。
オート電源オフにより、電源を切った場合レジューム機能は動作しません。

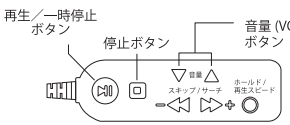
CDを聴くときは

イヤホン、リモコンを接続し、音量を絞ってから操作してください。

正面

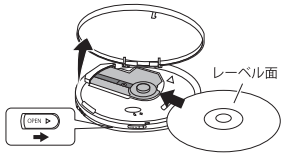


リモコン



- ●本機で再生できるMP3-CDは以下の通りです。
  - ・対応ビットレート：32〜320kbps
  - ・ファイル数：最大300ファイルまで
  - ・フォルダー数：最大99個まで（5階層まで確認済み）
- ●本機で再生するCD-R／RWを作製する際、MP3形式のファイルに「.doc」、「.txt」、「.pdf」などの拡張子をつけないでください。
- ●本機で再生するCD-R／RWを作製する際、音楽ファイルではないデータ（テキストデータ、画像データなど）のファイル名に、「.mp3」の拡張子を付けないでください。本機の機能に悪い影響を与えたり、ノイズ干渉が起こるおそれがあります。
- ●MP3形式のファイルとCD-DA形式（Audio CDで一般的な形式）のファイルを1つのディスクに混在させないでください。混在している場合、CD-DA方式のファイルのみ認識され、MP3ファイルは認識されません。

1. CDドア開スイッチをスライドさせて、CDドアを開けます。
2. レーベル面（印刷してある面）を上にしてディスクを正しくセットした後、CDドアを閉めます。
   カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。



3. 本機電源入ボタンを押すと電源が入り、「rEAd」と表示されてディスクの読み込みが始まります。読み込みが完了すると自動で再生が始まります。

- ●読み込みには時間がかかることがあります。
- ●ディスクが入っていない場合や、汚れや破損、入れ間違い（表裏逆に装着）などにより、読み込みが完了できない場合は、「Err」と表示されます。
- ●本機の規格に適合しないディスク（圧縮ファイルが記録されたディスクなど）の場合、読み取り動作後、ディスプレイに経過時間が表示されることがありますが、音は出ません。

4. 本機の音量ボタン（＋／−）またはリモコンの音量ボタンで音量を調節します。

音量レベル表示例

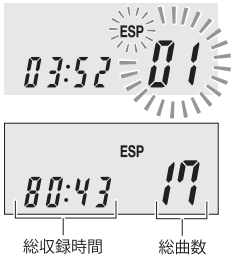
- ●音量は本機、リモコン双方で調節できます。
- ●音量調節したときはディスプレイに音量レベルが約1秒間表示されます（00〜15）。
- ●音量の上げすぎにご注意ください。大きな音量で長時間聴き続けると、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

次ページに続く

5 再生中に電源入・再生/一時停止ボタンを押すと、一時停止します（トラックナンバー表示が点滅します）。もう一度押すと再生を再開します。

6 再生を止めるには、電源切・停止ボタンを押します。電源切・停止ボタンを1度押すとレジューム動作(次回再生時に前回停止位置からの再生)になります。2度押すと停止します。停止状態では、総曲数（トラック数）と総収録時間が表示されます。

7 終了するには、電源切・停止ボタンを長押します。ディスプレイの表示が消え、電源が切れます。



●ディスクを取り出す際は、CDドアを開けた後、ディスクの回転が完全に停止したことを確認してから行なってください。回転しているディスクを押さえて無理に停止させると、故障したりディスクが傷つくおそれがあります。
●ディスクは回転軸部を上から指で押さえながら、取り外してください。
●使い終わった後は、必ず本機からディスクを取り出してケースに保管してください。また、ほこりや汚れから内部を保護するため、ディスクを取り出した後はCDドアを必ず閉めてください。

本機とリモコンのボタン機能について

ボタン	停止中に押す	再生中に押す	再生中に長押しする
スキップ(⏭)	次の曲を選択	次の曲に移動して再生	聴いている曲が早送りされます。指を離した時点から再生を再開します。
スキップ(⏮)	一つ前の曲を選択	曲の頭に戻って再生。2回続けて押すと、ひとつ前の曲に戻って再生します。以降、押すごとに前の曲に戻って再生します。	聴いている曲が早戻しされます。指を離した時点から再生を再開します。
電源入・再生/一時停止ボタン	再生⇄一時停止		
電源切・停止ボタン	再生を停止（長押しすると電源が切れます）		

※早送り、早戻し時は経過時間表示を見ながら操作してください。

早聞き、遅聞きの操作について

本機の早聞き、遅聞きボタンでの操作

早聞き⏭： 一回押すごとに +01(105%)→ +02(110%)→ +03(115%)→ +04(120%)→ +05(125%)→ +06(130%)→ +07(135%)→ +08(140%)→ +09(145%)→ +10(150%)

遅聞き⏮： 一回押すごとに -01(95%)→ -02(90%)→ -03(85%)→ -04(80%)→ -05(75%)→ -06(70%)→ -07(65%)→ -08(60%)→ -09(55%)→ -10(50%)

※リモコンのホールド/再生スピードボタンを長押しすると再生スピード調節モードに入ります。

次にリモコンのスキップ/再生スピード+/ーボタンを押すごとに上記と同様に再生スピード調節ができます。

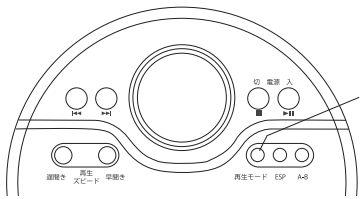
1 リモコンで再生スピードを**リセットする方法**
ホールド/再生スピードボタンを長押し再生スピード調節モードに入る

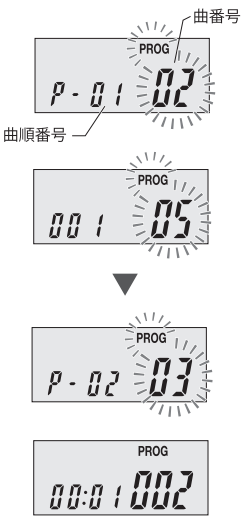
2 再度ホールド/再生スピードボタンを長押しして再生スピードをリセットする

※本体では遅聞き早聞きボタンを押して、再生スピードを 00 に設定する。

プログラム再生

本機では最大20曲までお好きな順番で曲を再生することができます。





1 停止ボタンを2回押してから、再生モードボタンを押します。「PROG」と曲番号、曲順番号が表示され、「PROG」と曲番号が点滅します。

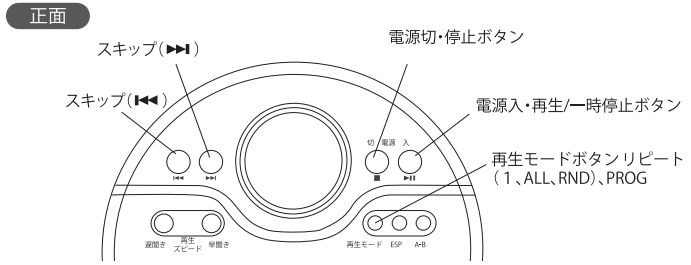
2 スキップ（⏮／⏭）で最初に登録したい曲番号を選び、再生モードボタンを押します。

3 ステップ2と同様の手順で2番目以降の曲を登録していきます。

4 電源入・再生/一時停止ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。
プログラム再生中は「PROG」が表示されます。

●プログラム再生中に停止ボタンを押すと、再生が停止します。
●プログラム内容は、再生停止中にスキップ（⏮／⏭）で確認できます。
●電源・再生／一時停止ボタンを長押ししてから電源を切る、もしくは、CDドアを開けるとプログラム内容はリセットされます。

1曲リピート・全曲リピート・ランダム再生



再生モードボタンを1回押す　1曲リピート

聴いている曲を繰り返し再生します。

●一時停止中に1曲リピートを選んだ場合は、スキップ(I◀◀／▶▶I)で曲番号を選び、再生を始めてください。

1曲リピート中はディスプレイに **REP1** が表示されます。

再生モードボタンを2回押す　全曲リピート

CD内の全曲を繰り返し再生します。

●再生中に全曲リピートを選んだ場合は、そのまま全曲を繰り返し再生します。

●一時停止中に全曲リピートを選んだ場合は、電源・再生/一時停止ボタンを押して再生を始めてください。

全曲リピート中はディスプレイに **REP ALL** が表示されます。

再生モードボタンを3回押す　ランダム再生

CD内の曲をランダムに再生します。

●再生中にランダム再生を選んだ場合は、聴いている曲をそのまま最後まで再生し、次の曲からランダム再生が始まります。

●一時停止中にランダム再生を選んだ場合は、電源入・再生/一時停止ボタンを押して再生を始めてください。一時停止中の場合は再生再開時にランダムに選ばれた次の曲から再生が始まります。

ランダム再生中はディスプレイに「RND」が表示されます。
また、「RND」が点滅している場合は、待機中であることを示しています。

●1曲リピートや全曲リピート、ランダム再生を解除するには、ディスプレイの各マークがすべて消えるまで、再生モードボタンを数回押してください。
●電源切・停止ボタンを押した場合も設定が解除されます。

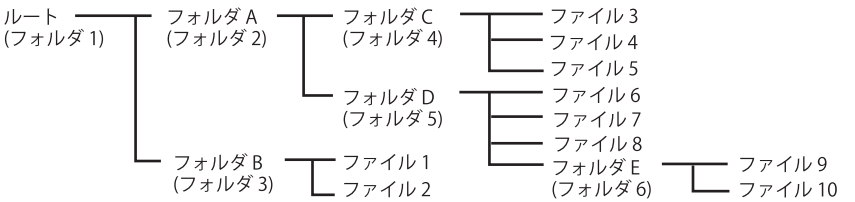
※MP3 CDを再生時　再生モードの動きは 1回･･･REP 1、2回･･･REP DIR 3回･･･REP ALL
4回･･･REP RNDの順になります。

MP3 CD 再生時フォルダの再生順序について

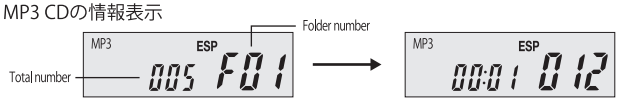
MP3ファイルが複数のフォルダに記録されている場合は、FO1、FO2と自動的にフォルダ番号が設定・表示されます。選択したフォルダ内にサポートされているファイル形式がない場合、そのフォルダはスキップされ、次のフォルダが選択されます。例：MP3形式のファイルが以下の図のように記録されている場合はフォルダ番号です。

1. ルートフォルダがフォルダ1に設定されます。
2. ルートフォルダ内のフォルダ(フォルダAとフォルダB)は、ディスクに先に記録されていたフォルダがフォルダ2とフォルダ3に設定されます。
3. フォルダA(フォルダCとフォルダD)内のフォルダは、ディスクに先に記録されていたフォルダがフォルダ4とフォルダ5に設定されます。
4. フォルダD内にあるフォルダEがフォルダ6に設定されます。

＊ディスクに記録されているフォルダやファイルの順序情報は、書き込みソフトウェアによって異なります。



5. MP3 CDの情報表示



注: MP3 CDのフォルダ番号の総数がディスプレイに表示されます。

A-Bリピート再生

特定区間（A-B）をリピート再生します。CD再生中に開始位置（A点）でA-Bボタンを押し、終了位置（B点）で再度A-Bボタンを押してください。A-Bリピート再生中は液晶表示ディスプレイに「A-B」が表示されます。リピート再生を取消すには停止ボタンを押してください。
※トラックをまたいでのA-Bリピート再生はできません。

重低音ボタンについて

側面の重低音ボタンをONにすると、低音域を強調したサウンドを楽しむことができます。重低音ボタンを再度押すと解除できます。

お手入れのしかた

お手入れの前に必ず電源を切り、乾電池を取り外してください。また、USB外部電源かACアダプター使用時は電源端子(DC IN)に接続されているプラグも抜いてください。

●キャビネットのお手入れ

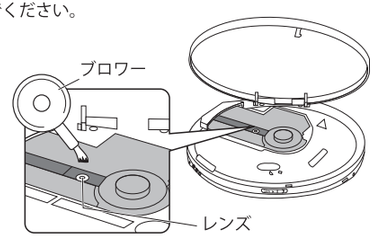
本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

●レンズ部のクリーニング

レンズの汚れは、音飛びなど正常な再生ができなくなる原因になります。CDドアを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。

・市販のクリーニングキットのレンズ用ブロワーを使って、ほこりやゴミなどをはき出してください。
・万一指紋などがついている場合は、市販のレンズクリーナーをお使いください。



故障かなと思ったら

電源が入らない	●乾電池が入っていますか
	●乾電池の向きは正しいですか
	●乾電池が消耗していませんか
	●(ACアダプター使用時)ACアダプターは本機及び家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか
	●(USB電源使用時)USB接続口は本機及びUSBアダプターにしっかりと接続されていますか。
再生が始まらない	●CDドアがしっかりと閉まっていますか
	●本機の規格に合わないディスクが入っていませんか
	●ディスクが裏返しに入っていませんか
	●レンズがひどく汚れていませんか
	●一時停止状態になっていませんか
	●結露していませんか
	●ホールドスイッチがオンになっていませんか
CD-R／RWの再生ができない	●収録した曲は本機の規格に合ったファイル形式ですか
	●正しくファイナライズ処理したディスクをお使いですか
音が出ない	●イヤホンのプラグがしっかりと差し込まれていますか
	●本機またはリモコンの音量が最小になっていませんか
音飛びがする	●レンズが汚れていませんか
	●ディスクに傷があったり、ひどく汚れていませんか
	●強い衝撃や振動のある場所で再生していませんか
正常な表示や動作をしない	●乾電池が消耗していませんか

主な仕様

電源	DC 3V 単3形乾電池(LR6)×2本(別売) 外部電源 DC4.5V 700mA ⊖-◉-⊕(ACアダプター別売)※1 マイクロUSB DC 5V 500mA (USBアダプター別売)※2
出力端子	イヤホン出力(φ3.5mmステレオミニプラグ) 最大出力レベル15mW+15mW
対応フォーマット	CD-DA、MP3
使用時間の目安	新品アルカリ乾電池使用時：約 7 時間 (中程度の音量にて使用時の目安です。使用状況により異なります。)
外形寸法	幅143×高さ30×奥行143mm(突起物含まず)
質量	約220 g (電池・付属品含まず)
付属品	リモコン(クリップ付)、ステレオイヤホン、保証書付取扱説明書、DC電源ケーブル

*仕様及び外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。
※1 ACアダプターは市販のDC 4.5V 700mA ⊖-◉-⊕(外径3.5mm内径1.3mm)をお買い求めください。
※2 USBアダプターは市販のDC 5V 500mA以上の物をお買い求めください。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。